

避難に備えて

◆台風や豪雨による雨の状況は、事前に気象情報により予測することが可能です。

テレビ、ラジオなどで正確な情報を知り、早めの避難を心がけましょう。特に、川の周辺や崖の近くに住む人は、要注意です！

- 1 日頃から自宅又は勤務先などから一番近い避難所・避難場所を確認しておく。
- 2 日頃から避難所までのルートを考えておく。
- 3 地域の危険場所（崖、ため池など）を把握しておく。
- 4 避難時の留意点



●動きやすく安全な服装で

服装は防水効果のあるものにし、靴はひもで締められる運動靴にしましょう。長靴は厳禁です。手袋、帽子も必要です。非常持出品はリュックサックなどに入れて、最小限にしましょう。



●足元に注意

氾濫水は濁っていますので、水の中の障害物に注意しましょう。側溝や用水路に落ちないように、長い棒などをつえがわりをして、安全を確認しましょう。



●深さに注意

洪水氾濫は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。歩ける深さは男性で約 70 cm、女性で約 50 cm が限界。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。



●ご近所に声を掛けましょう

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険です。避難する前に隣近所に声を掛け、集団での避難を心掛けましょう。